

(1)南門地区

南門地区については、水門上の広場について多目的な利用が可能な広場を整備し、芝生広場とベンチなどの簡易な便益施設の設置を行い、基肄城跡の玄関口としての散策環境整備を行う。

現況は中低木や草が繁茂しているため、中低木の除伐・つる切り、除草を行う。

その後、造成工事では草根混じりの表土を鋤取り、全体に 10 cm のクラッシャーランを敷いた後全体に 45 cm から 145 cm の盛土を行う。特に北側の町道部分と広場の平坦面に約 2.8m の標高差があることから、平坦部及び町道への取り付けとするため、安全勾配で盛土を行う。この部分には、進入用にプラ擬木による階段を設置する。また、広場の北側から西側にかけては自然色舗装により管理車両も通行できる整備を行う。広場の東側から南側には、雨水排水用に碎石側溝やふとんかごを設置する。

造成完了後は、管理道と階段を除いた面に野芝を貼り、ベンチを 5 基設置する計画である。また、高低差のある場所については、安全対策として転落防止柵や手すりを設置する。これらの工事に当たっては、現状の草根を除去するための表土の鋤取りが発生するものの、全体的には盛土による工事で、転落防止柵や雨水対策用の側溝も盛土内で対応する予定であることから遺跡への影響は極めて低い。

南門地区周囲の高木については、石畳上の 8 本及びその近辺の 4 本の伐採を行う。伐採にあたっては、抜根は行わない。

南門地区工事一覧

工種	内容		数量	備考
敷地造成工	路床盛土	路床盛土	421.40 m ³	小型重機による整形
	クラッシャーラン	C-40	69 m ³	
樹木伐採工	高木伐採	20≦C<250	14 本	
法面工	かご工	ふとんかご	1 式	
植栽工	地被類植栽	野芝	511.0 m ²	
施設整備工	側溝工	碎石側溝	37.3m	
	土系舗装工	t 40-150	181.1 m ²	広場西側通路部
		t 40	5.4 m ²	階段部
	階段工	プラ擬木階段 W1500	19 段	
	サービス施設整備工	ベンチ W1800	5 基	
	柵工	転落防止柵 H1100	67.4m	
	車止め工	車止め H750	4 基	

これら諸作業を行うにあたって、基肄城跡保存整備委員会ならびに関係機関（佐賀県、福岡県、九州歴史資料館など）の指導を仰ぎ進めることとしている。

9. 現状変更等により生ずべき史跡への影響に関する事項

特別史跡基肄城跡の遺構ならびに史跡景観に影響を及ぼさない施工法ならびに意匠を選択し実施する。

また併せて整備工事時については史跡散策者の安全に十分留意し実施する。

10. 現状変更の着手及び終了の予定時期

着 手 許 可 日

完 了 令和9年3月31日

11. 現状変更等に係る地域の地番

佐賀県三養基郡基山町大字小倉	2554-1	(1017.16 m ²)	【基山町】
	2555	(188 m ²)	【住吉神社】
	2556	(863 m ²)	【基山町】

12. 現状変更等に係る工事その他の行為の施工者氏名及び住所

氏 名 未定

住 所 未定

13. 添付書類

- (1) 特別史跡基肄（椽）城跡 位置図
- (2) 特別史跡基肄（椽）城跡 平面図
- (3) 現状変更対象地字図
- (4) 保存整備工事実施設計図
- (5) 保存整備工事箇所現況写真
- (6) 『特別史跡基肄城跡保存整備基本設計』（抜粋）

14. その他参考となるべき事項

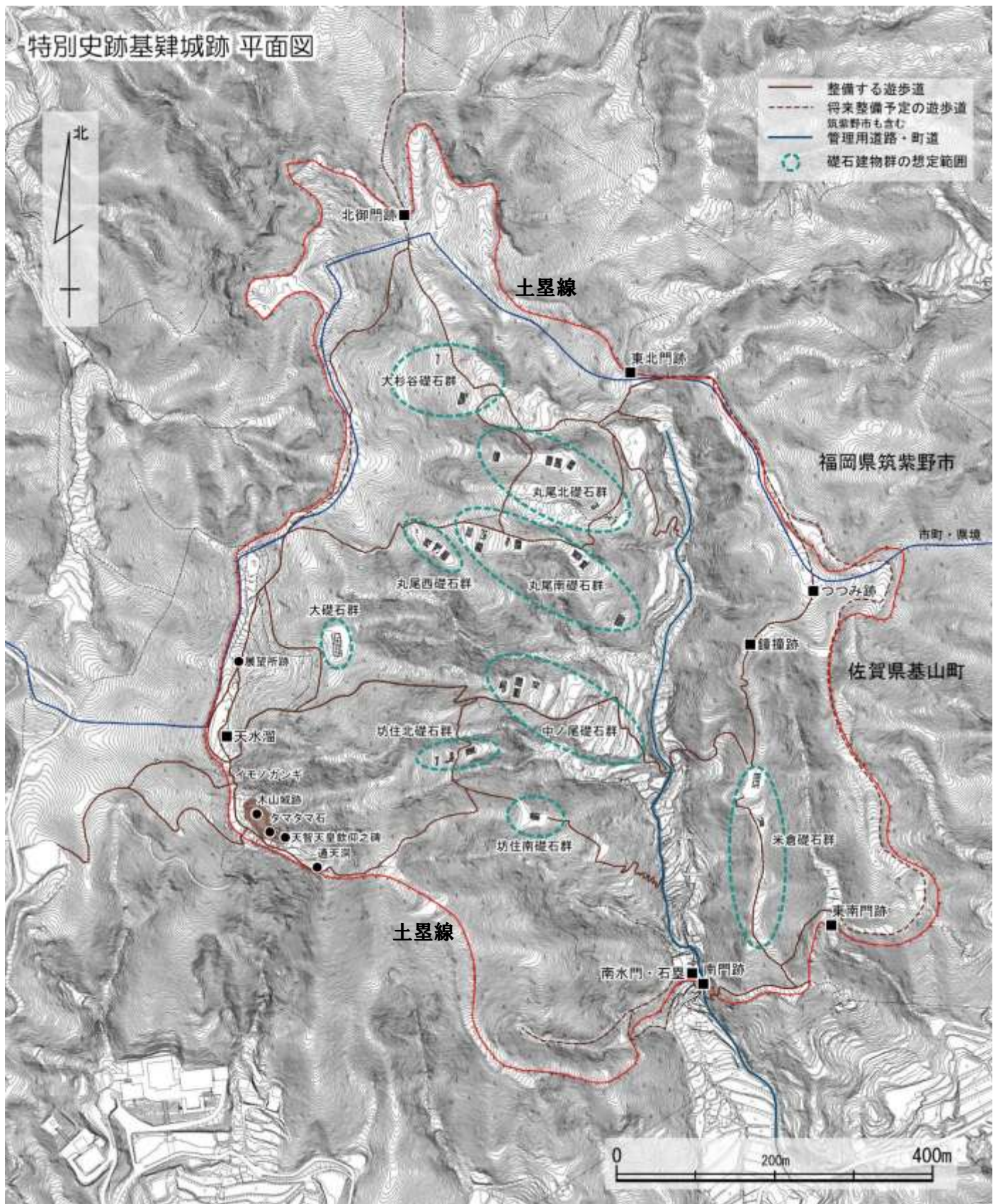
- (1) 国庫補助事業（歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業）に基づく整備工事
- (2) 交付決定の状況 令和8年4月13日交付決定済み

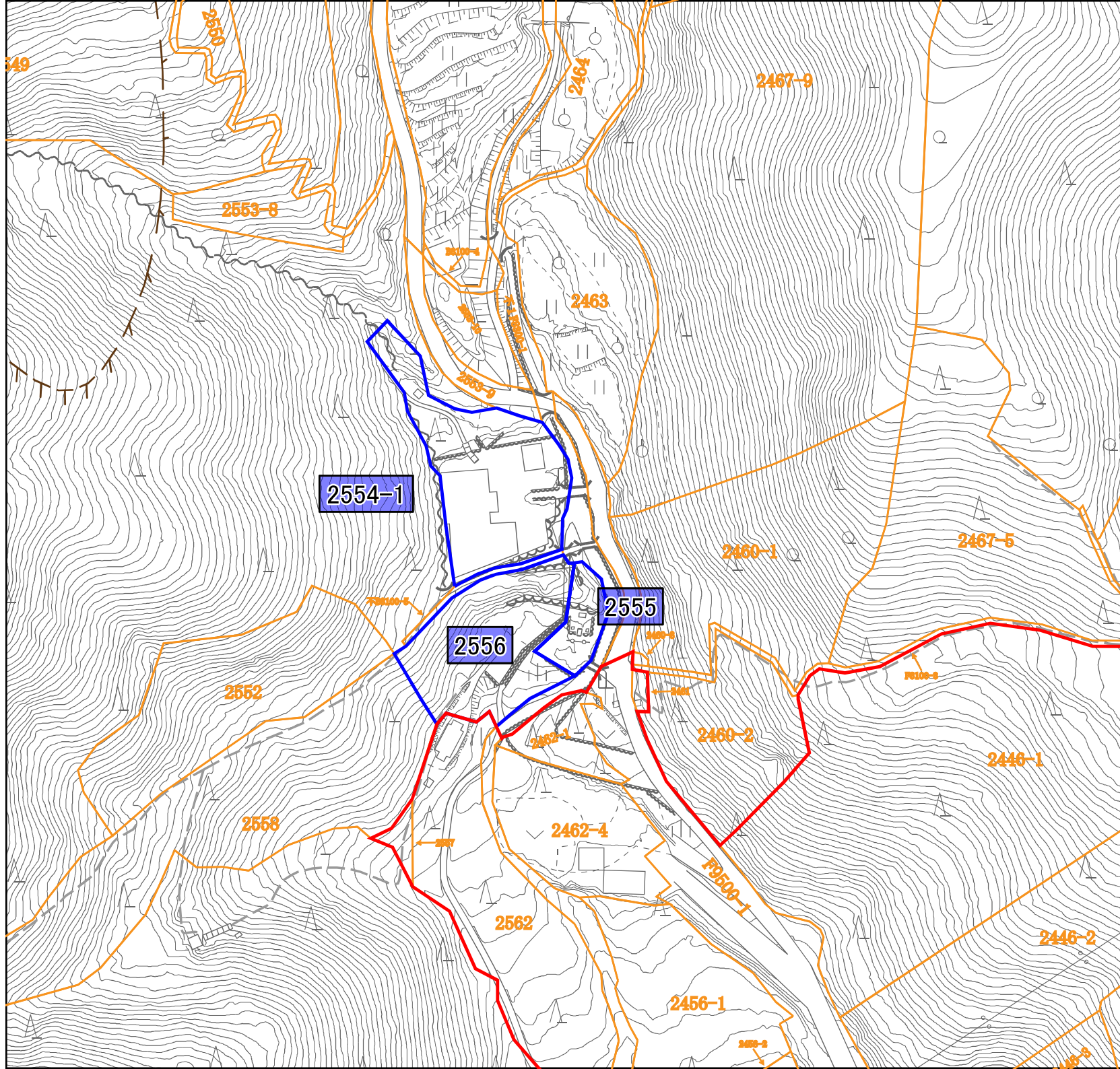
(1) 特別史跡基肆(椽)城跡 位置図

—— 指定区域境界線



(2) 特別史跡基肆（椽）城跡 平面図





現況・撤去平面図（南門地区）

X:49050

X:49050

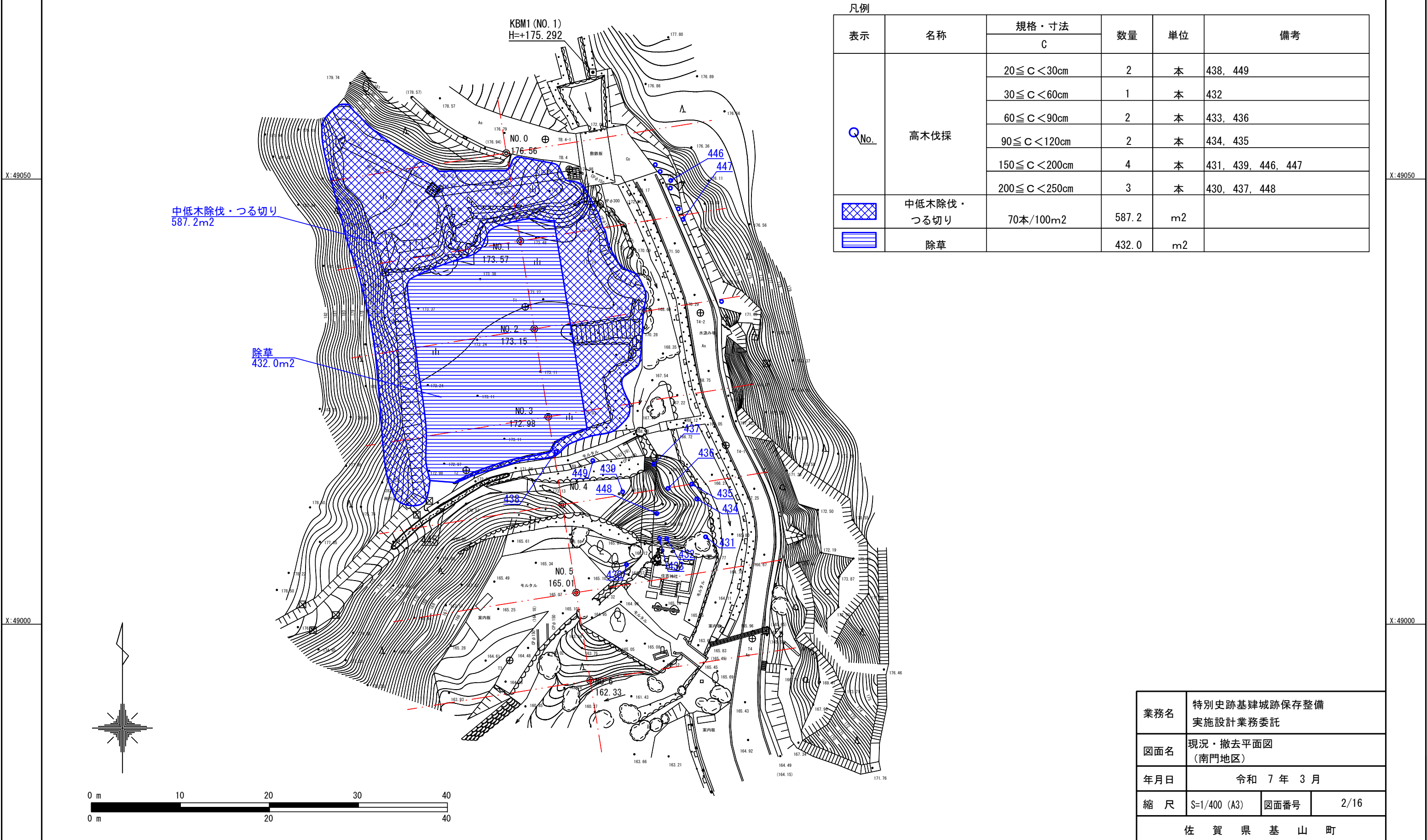
X:49000

X:49000

Y:-45050

Y:-45000

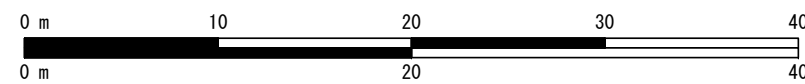
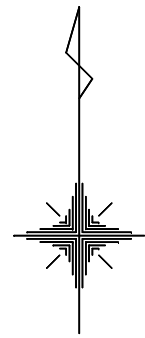
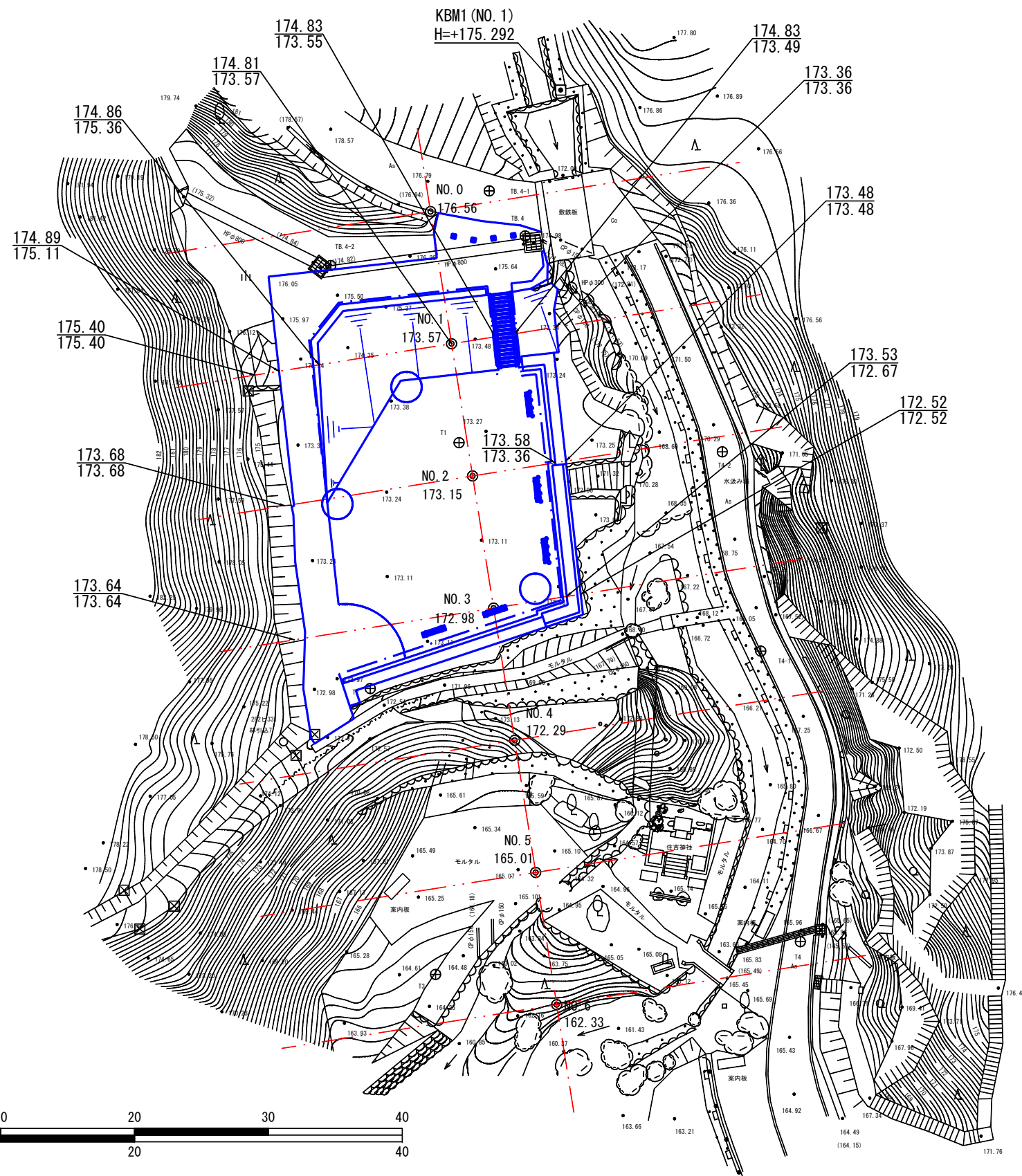
Y:-44950



造成平面図（南門地区）

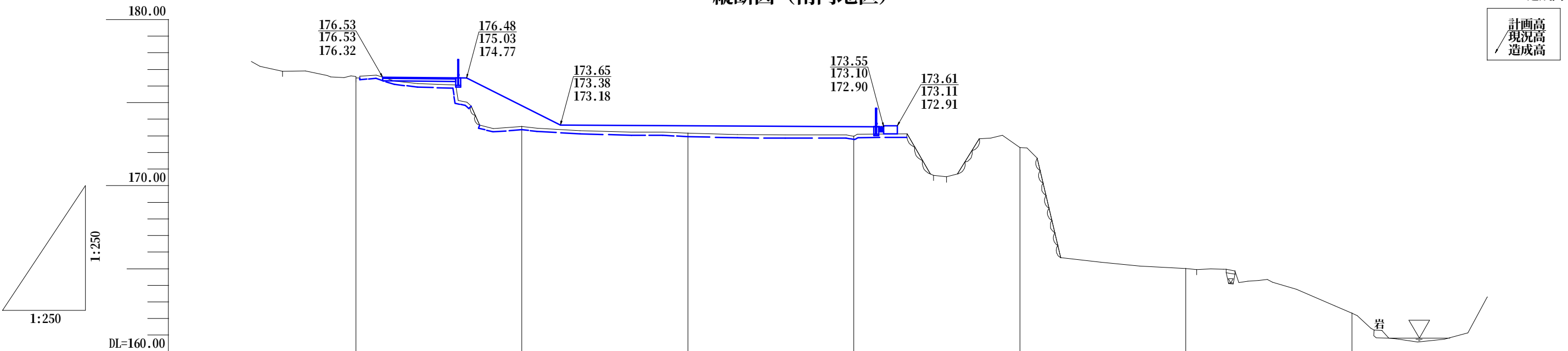
凡例

計画高	現況高
-----	-----



業務名	特別史跡基肆城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	造成平面図 (南門地区)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	S=1/400 (A3)	図面番号	3/16
佐 賀 県 基 山 町			

縦断面図（南門地区）

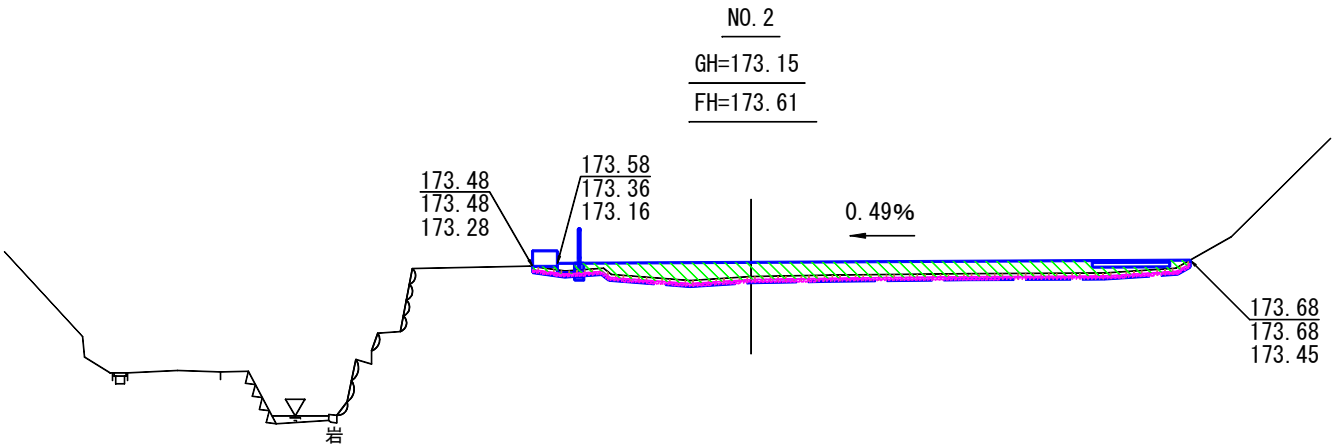


測 点	NO.0							NO.1							NO.2							NO.3							NO.4							NO.5							NO.6						
單距離	0.00							10.00							10.00							10.00							10.00							10.00							10.00						
追加距離	0.00							10.00							20.00							30.00							40.00							50.00							60.00						
地盤高	176.56							173.57							173.15							172.98							172.29							165.01							162.33						
計 画 高	176.56							174.81							173.61							173.56							172.29							165.01							162.33						
勾 配	L=5.05m i=0.99% L=19.48m i=0.51%																																																

業務名	特別史跡基肆城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	縦断面図 (南門地区)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	S=1/250 (A3)	図面番号	4/16
佐 賀 県 基 山 町			

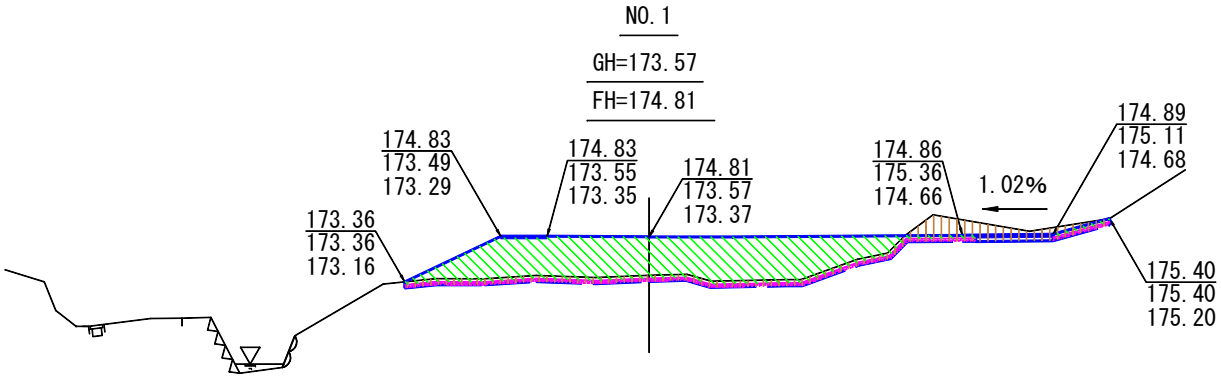
横断図-1（南門地区）

切土	0.00
盛土	9.67
掘削処分土	4.28
クラッシャーラン	2.14



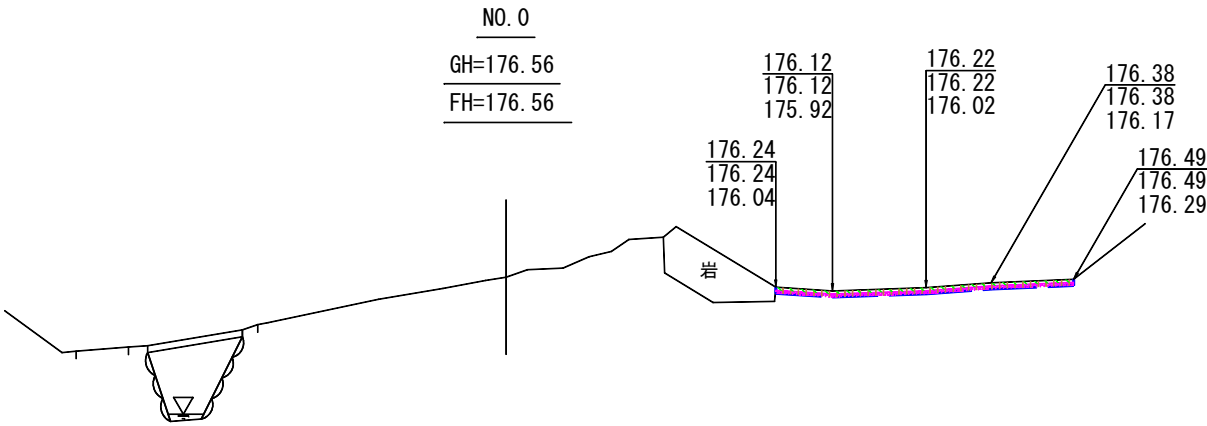
DL=165.00

切土	0.00
盛土	19.58
掘削処分土	6.51
クラッシャーラン	2.08



DL=165.00

切土	0.00
盛土	0.96
掘削処分土	1.93
クラッシャーラン	0.96



DL=170.00

凡例

- 現況
- 計画
- 造成高
- 切土
- 盛土
- 掘削処分土
H200
- クラッシャーラン
C-40 H100

計画高
現況高
造成高

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	横断図-1 (南門地区)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	S=1/250 (A3)	図面番号	5/16
佐 賀 県 基 山 町			

横断図-2（南門地区）

凡例

—

現況

—

計画

—

造成高

切土

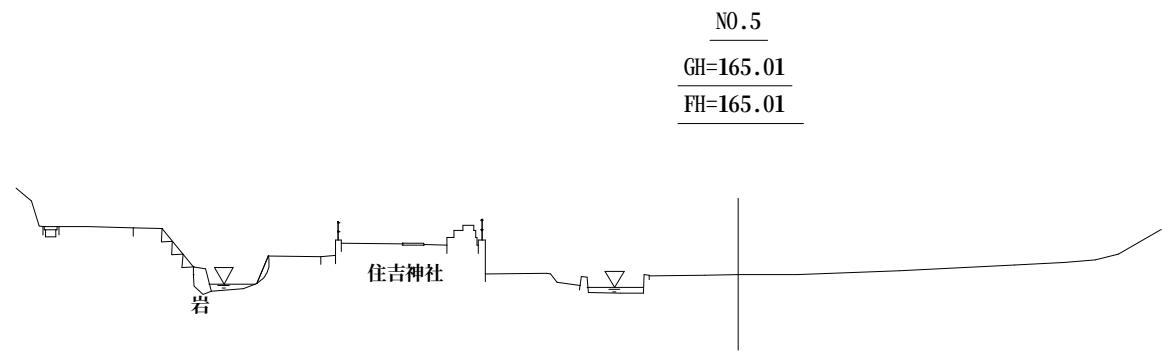
盛土

掘削処分土
H200

クラッシャーラン
C-40 H100

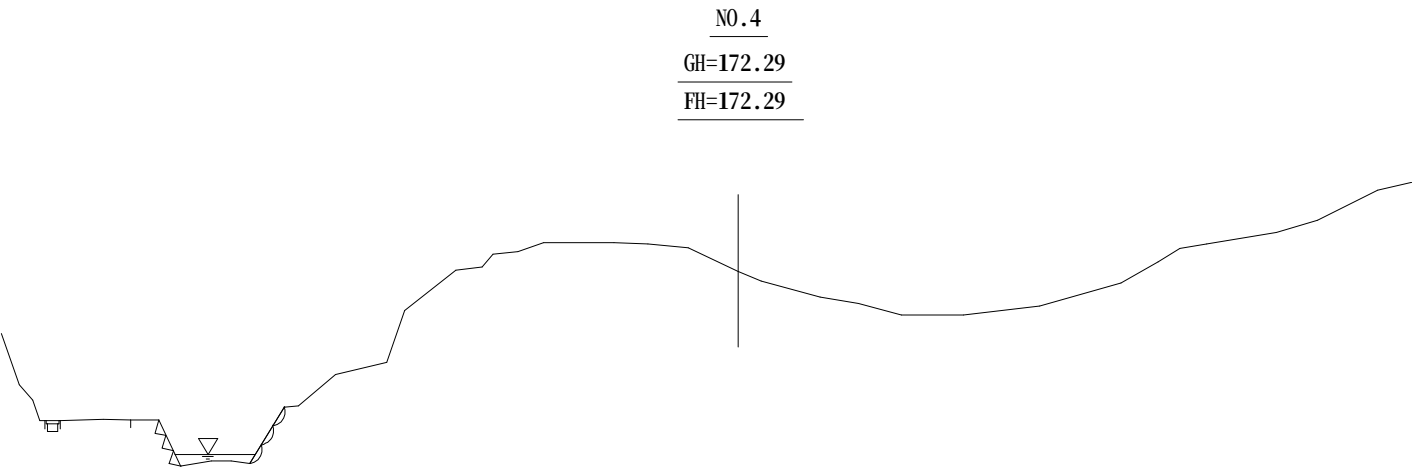
計画高
現況高
造成高

切土	0.00
盛土	0.00
掘削処分土	0.00
クラッシャーラン	0.00



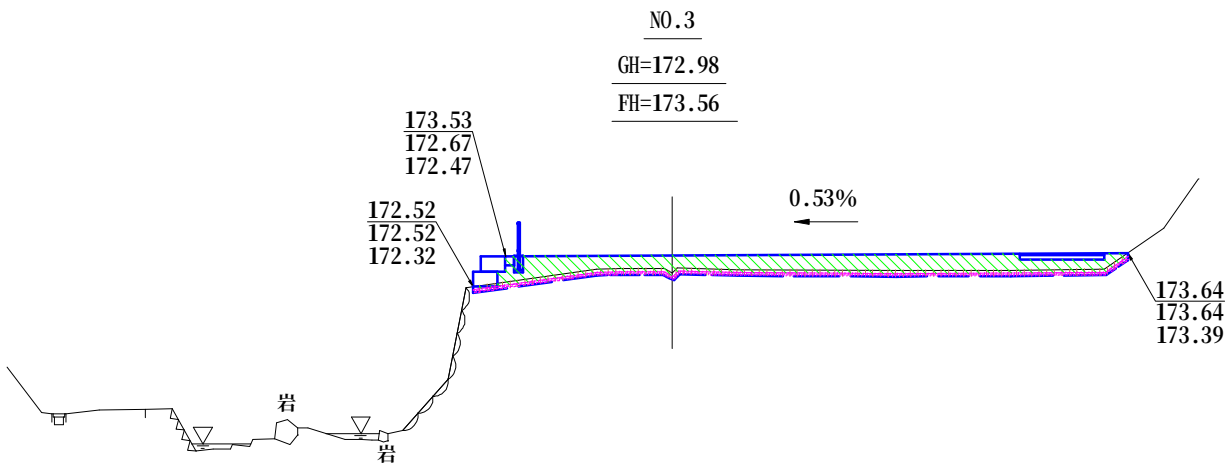
DL=160.00

切土	0.00
盛土	0.00
掘削処分土	0.00
クラッシャーラン	0.00



DL=160.00

切土	0.00
盛土	12.40
掘削処分土	4.39
クラッシャーラン	2.20



DL=160.00

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	横断図-2 (南門地区)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	S=1/250 (A3)	図面番号	6/16
佐 賀 県 基 山 町			

横断図-3（南門地区）

凡例

—

現況

—

計画

—

造成高

切土

盛土

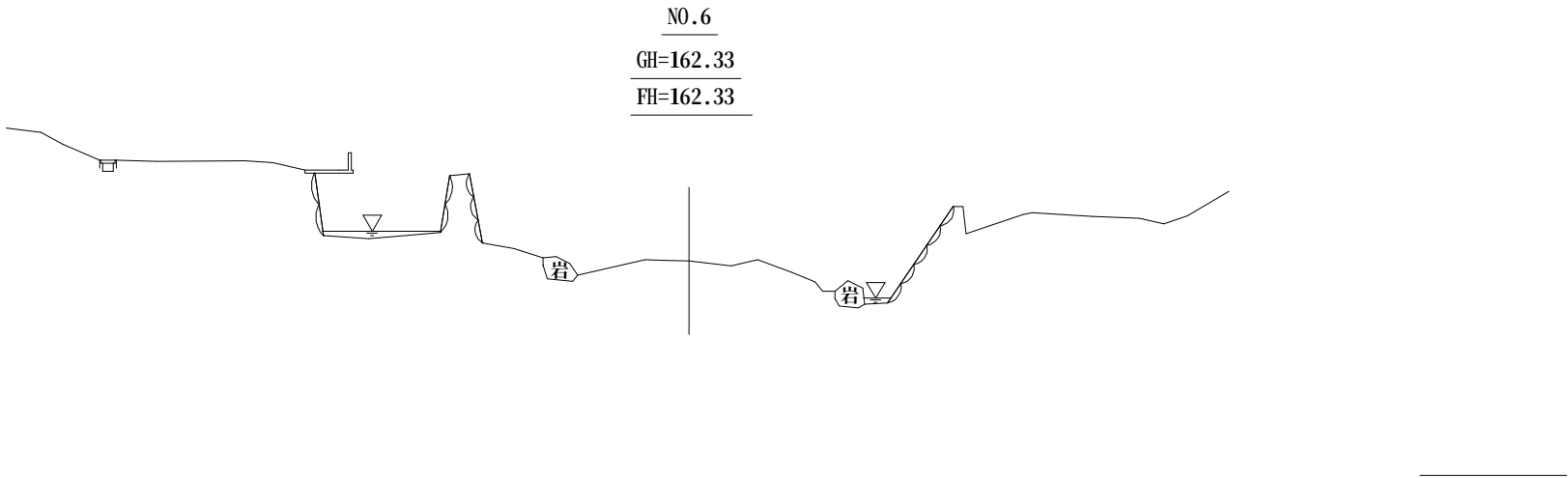
掘削処分土
H200

クラッシャーラン
C-40 H100

計画高
現況高
造成高

切土	0.00
盛土	0.00
掘削処分土	0.00
クラッシャーラン	0.00

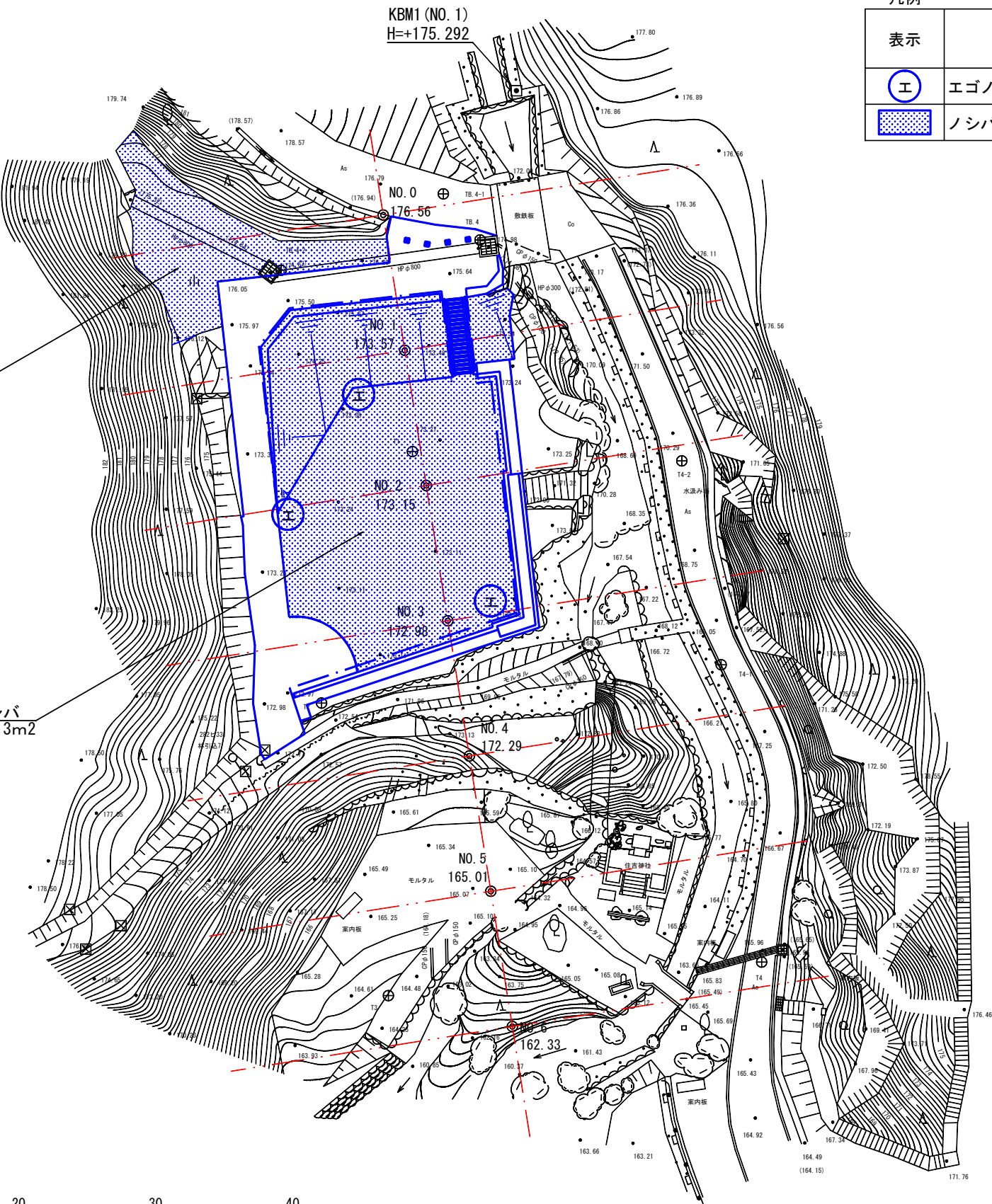
DL=155.00



業務名	特別史跡基肆城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	横断図-3 (南門地区)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	S=1/250 (A3)	図面番号	7/16
佐 賀 県 基 山 町			

植栽平面図（南門地区）

表示	名称	規格・寸法			数量	単位	備考
		H	C	W			
エ	エゴノキ	3.0	0.15	-	3	本	二脚鳥居支柱(添柱付)
ノシバ	ノシバ				511.0	m2	



ノシバ
99.7m2

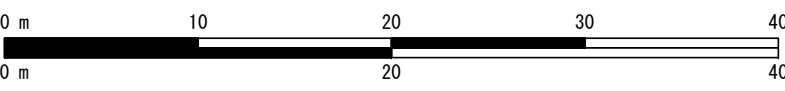
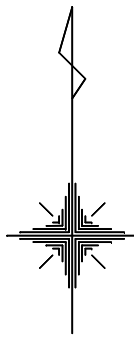
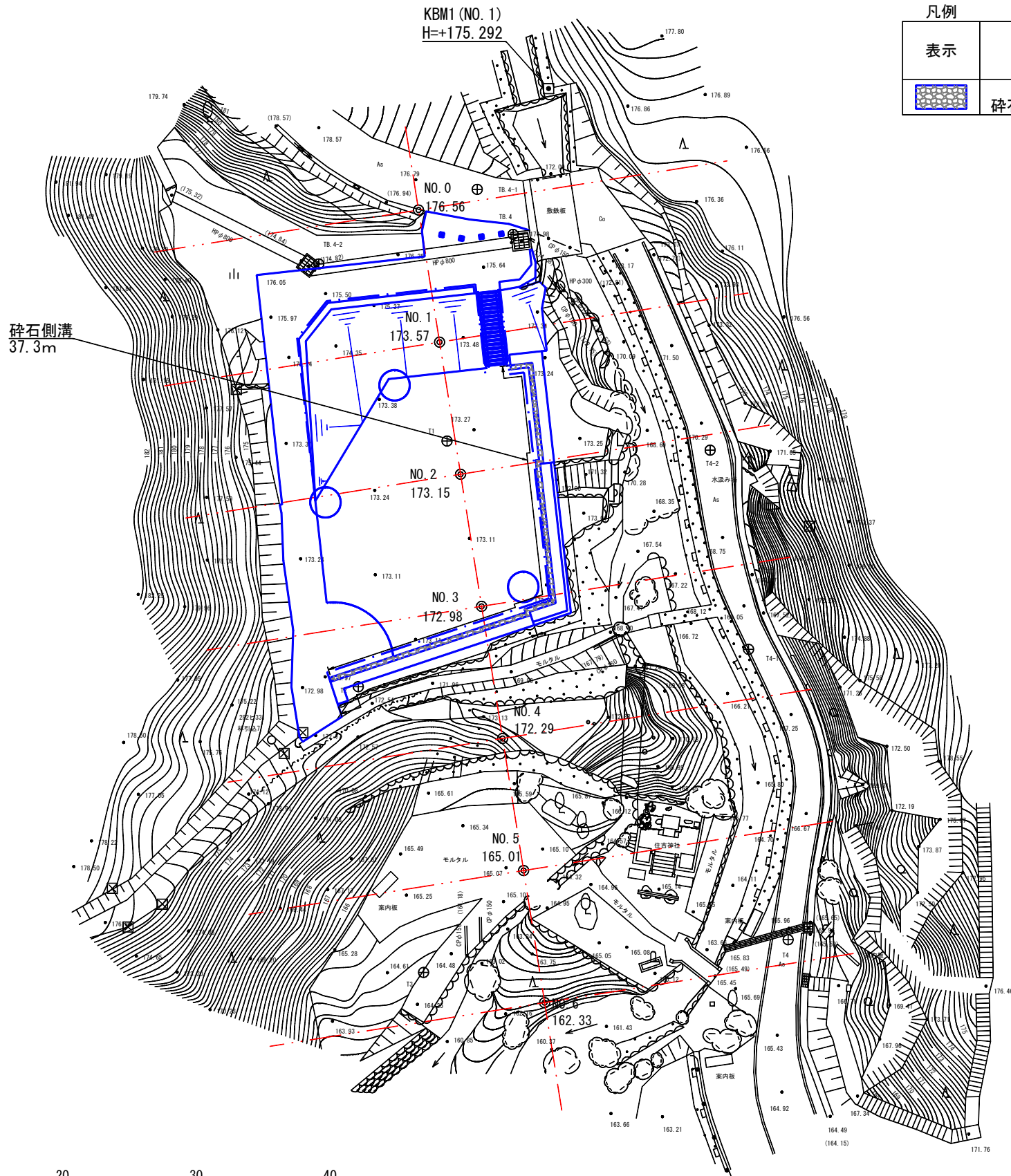
ノシバ
411.3m2

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	植栽平面図 (南門地区)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	S=1/400 (A3)	図面番号	8/16
佐 賀 県 基 山 町			

雨水排水平面図（南門地区）

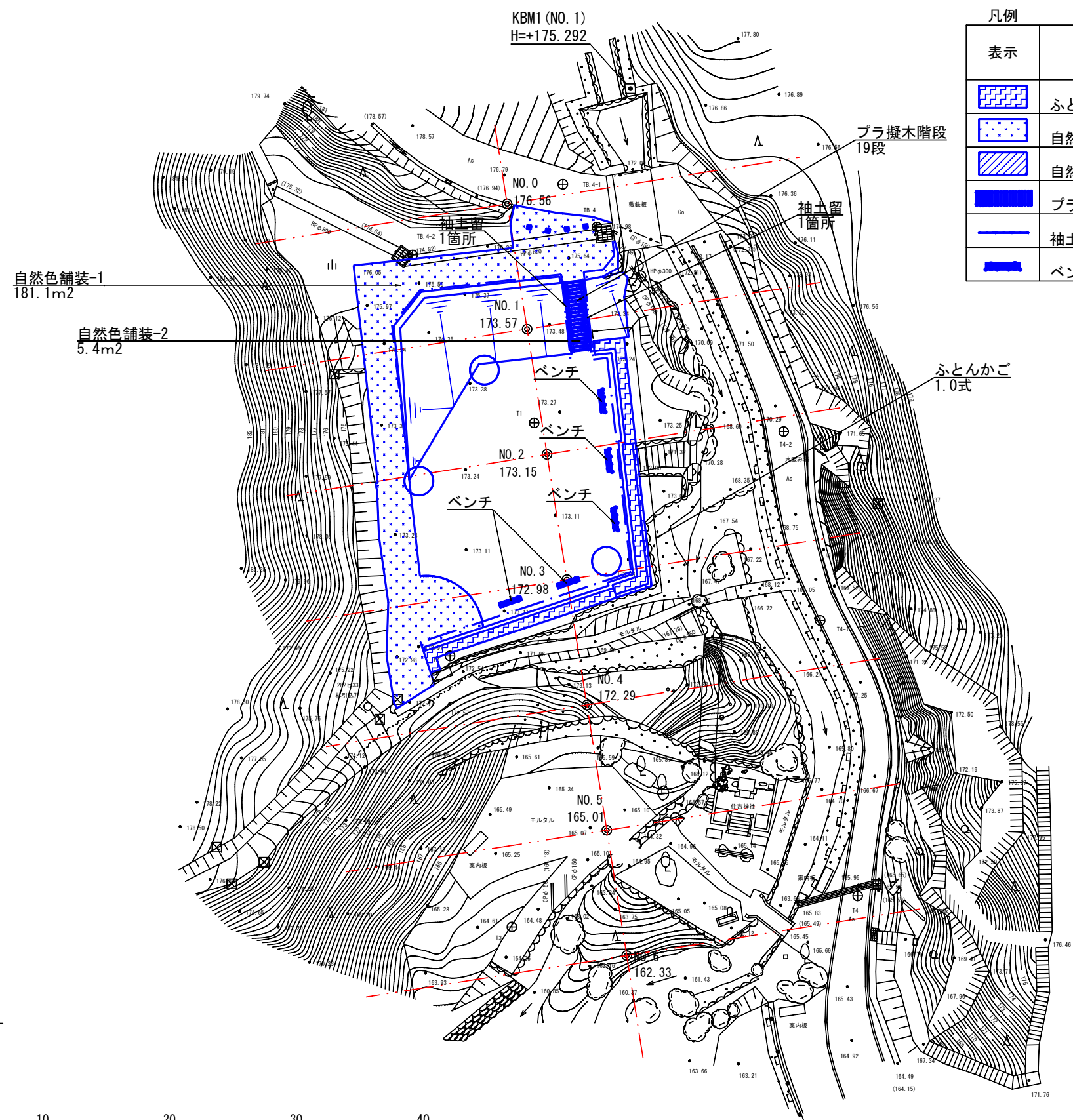
凡例

表示	名称	規格・寸法	数量	単位	備考
	碎石側溝	W300	37.3	m	

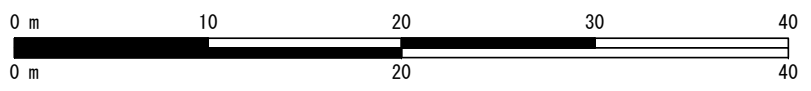
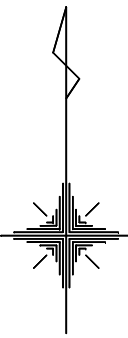


業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	雨水排水平面図 （南門地区）		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	S=1/400 (A3)	図面番号	9/16
佐 賀 県 基 山 町			

施設平面図-1（南門地区）

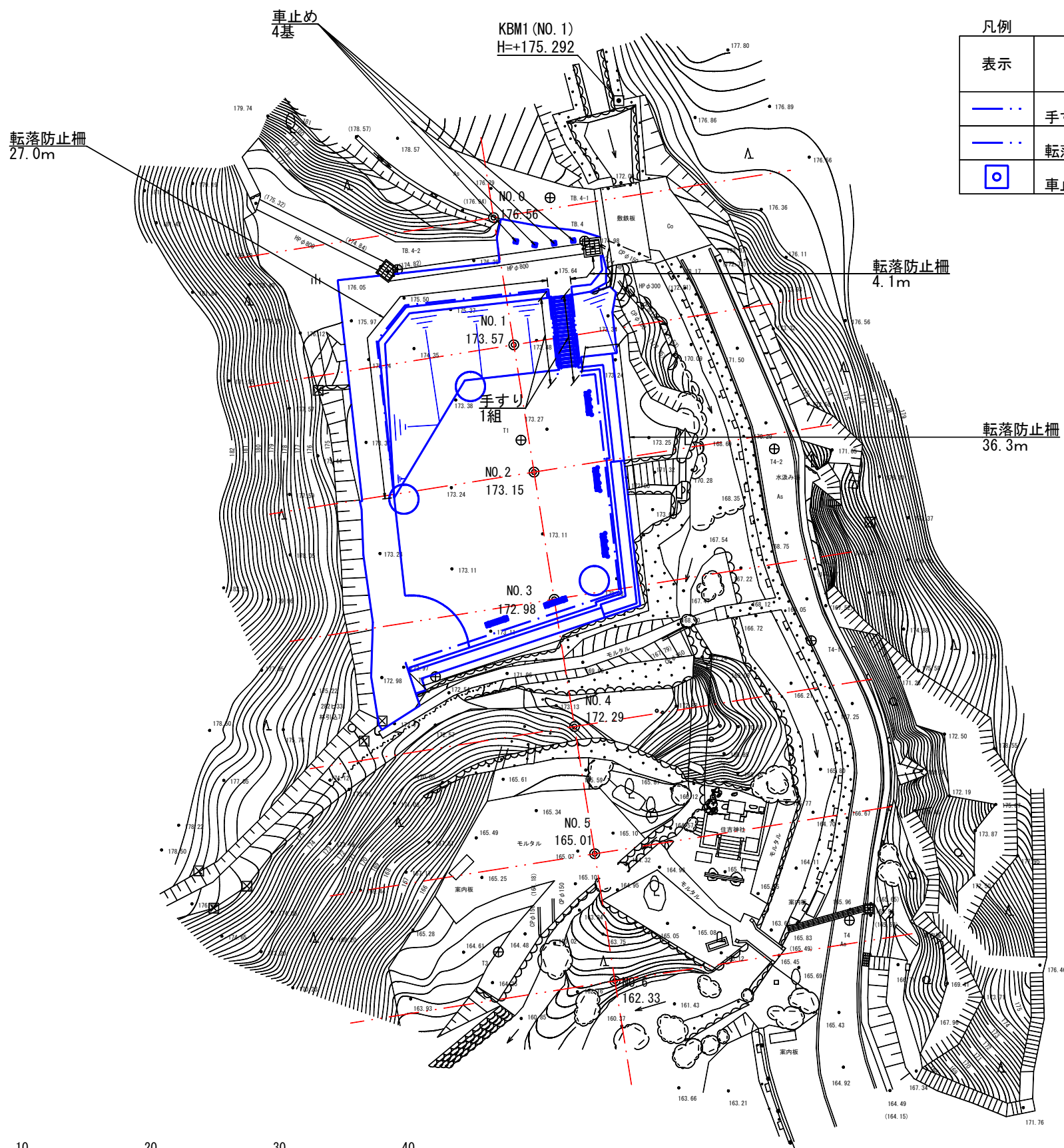


凡例					
表示	名称	規格・寸法	数量	単位	備考
	ふとんかご	H500~1000	1.0	式	
	自然色舗装-1	t 40-150	181.1	m2	
	自然色舗装-2	t 40	5.4	m2	
	プラ擬木階段	W1500	19.0	段	
	袖土留	30×200×2000	2.0	箇所	
	ベンチ	W1800	5.0	基	



業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	施設平面図-1 (南門地区)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	S=1/400 (A3)	図面番号	10/16
佐 賀 県 基 山 町			

施設平面図-2（南門地区）



凡例

表示	名称	規格・寸法	数量	単位	備考
	手すり	H850	1.0	組	
	転落防止柵	H1100	67.4	m	
	車止め	H750	4.0	基	

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	施設平面図-2 (南門地区)		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	S=1/400 (A3)	図面番号	11/16
佐 賀 県 基 山 町			



①南門跡石塁周辺高木伐採箇所（南から）



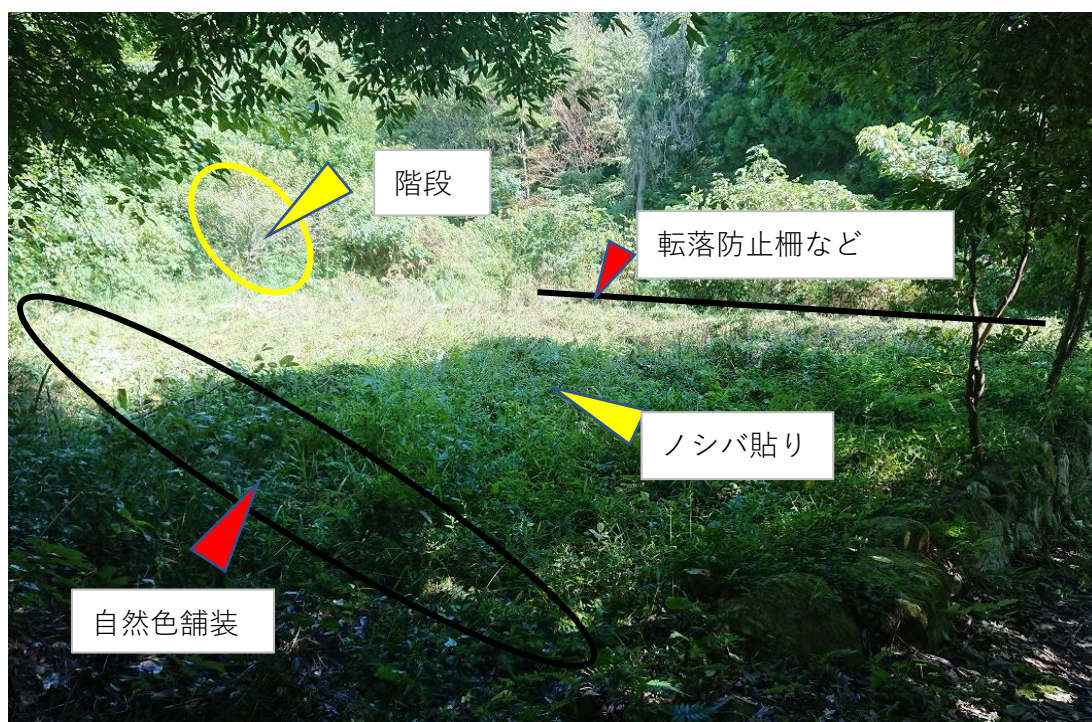
②石塁北側広場現況(南から)



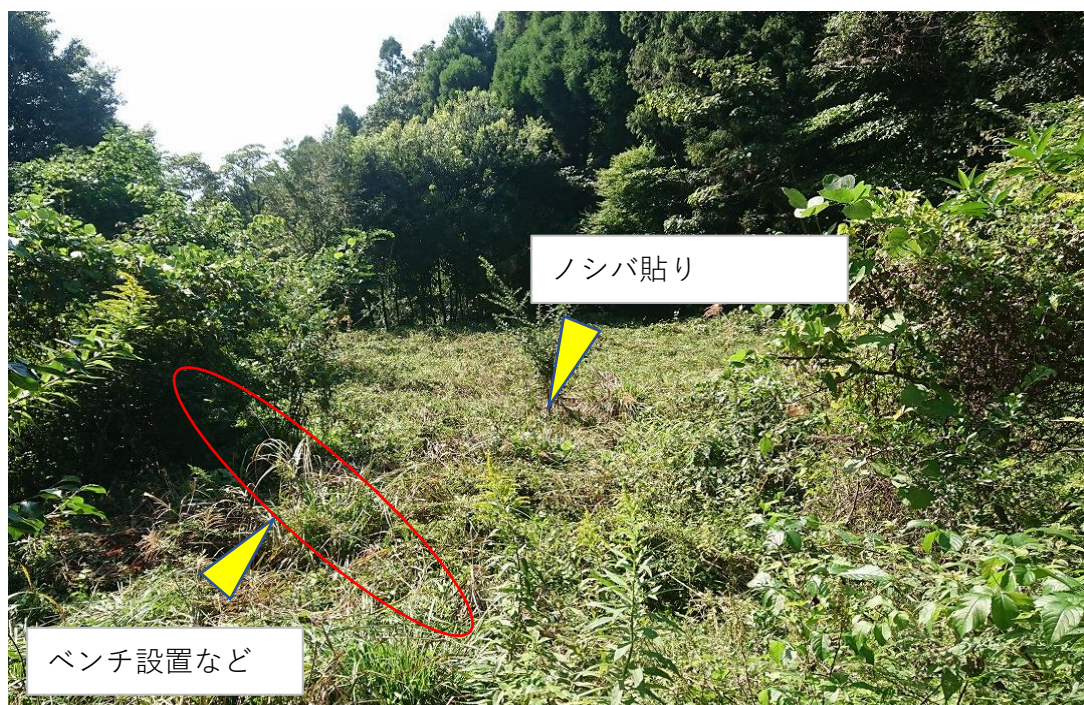
①南門跡石塁周辺高木伐採箇所（東から）



④石塁北側広場現況(東から)



①南門跡石塁周辺高木伐採箇所（南から）



⑥南門跡北側広場現況（北から）

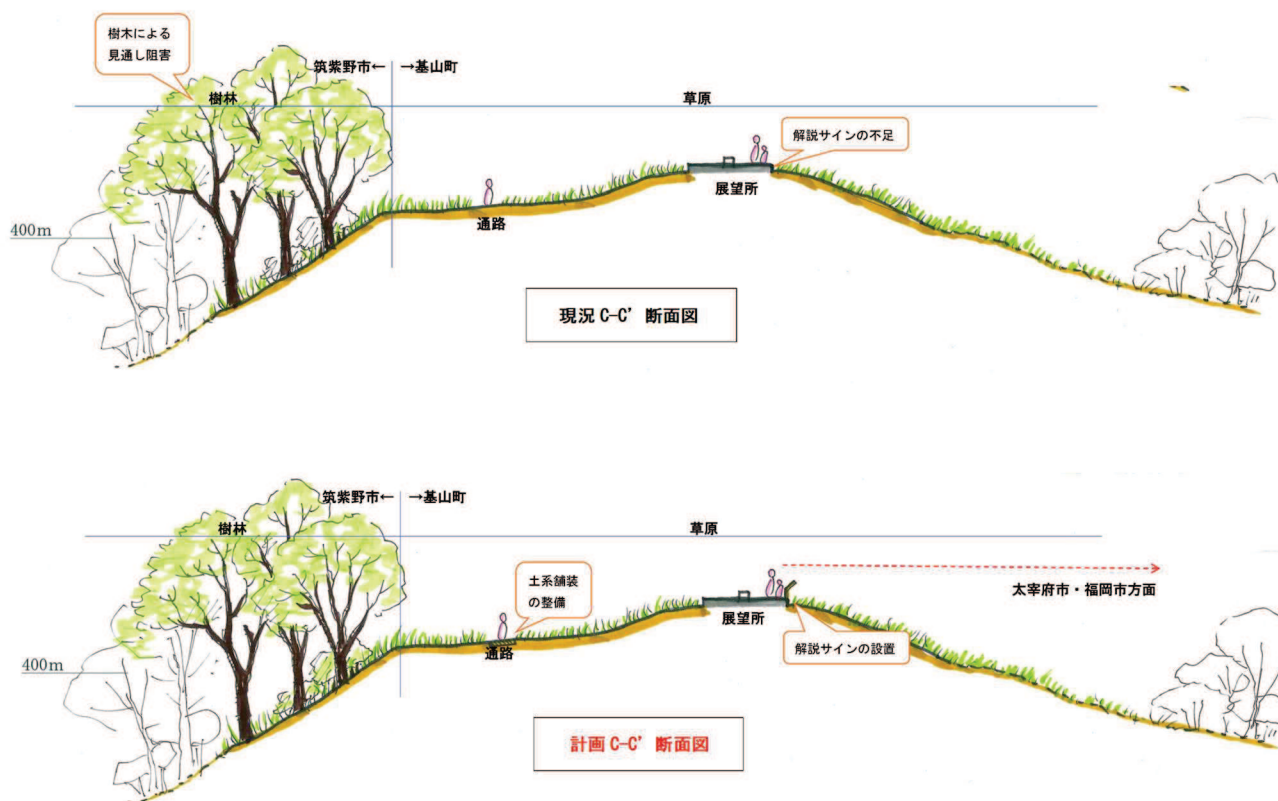


図 58. 計画 C-C' 断面図【上：現況、下：整備イメージ】

⑥南門跡保存整備基本方針

a. 基本設計における課題と整備方針（案）

基肄城跡の南面の主門にあたり、住吉川の出口であるため、石塁・水門・通路（南門）の三つで構成される。

南門は現在、水路及び道路によって消失したものと推定される。石塁には通水溝が4箇所確認されており、石塁東寄りの通水溝（水門跡）は、国内の古代山城の水門遺構としては大規模なもので、一部加工痕などが見られる自然石を両壁に平積みし、床面には横長石を敷き並べている。

また、その位置からしても基肄城の守りの中で重要な機能を有していたと思われる。

現在、水門跡、石塁を目にすることができるが、石塁上の樹木によるき損が懸念されていること、石塁北側広場の有効活用が、課題となっている。

南門跡地区について現状と課題、課題に対する整備方針（案）を以下の表に示す。



図 59. 南水門石塁南側



図 60. 南水門石塁北側

表 15. 南門跡地区におけるにおける現状と課題、課題に対する整備方針表

	現状と課題	課題に対する整備方針（案）
南門跡地区	南門跡周辺の既設サインの内容が重複している	サインの内容の精査、統一を行う
	水門上の樹木によるき損が懸念されるので整理が必要	水門上の樹木伐採を行う
	水門天井部が一部、陥没している	水門天井部の修復を行う
	道路東側斜面（法面）が崩壊している	樹木整理と法面保護を行い水門跡や管理道への崩落を予防する
	道路東側斜面の階段の崩壊し利用禁止となっている	迂回ルートが整備されているので、不要な階段の撤去を行う
	水門上の広場の早期発掘調査、活用法検討が必要	今後、発掘調査を行う必要があるため、芝生広場としベンチ等を設置し多目的広場として暫定利用する
	遊歩道が不明確	遊歩道を整備し、見学ルートを明確にする
	休憩用のベンチが不足している	ベンチの設置を行い、休憩機能を強化する
	水門跡前の舗装劣化、排水不良を起こしている	舗装改修、排水シート整備を行う

	遺構保全に係る要素
	遺構の価値を補完する要素
	基肄城跡の活用を向上させる要素
	その他

b. 管理道路東側の法面保護

管理道路東側の法面が災害により崩れている。そのため、樹木整理と法面保護を行い水門跡や管理道路への崩落を予防する。法面保護の工法検討については、詳細な土質調査を行う必要があるため、ここでは一般的な推奨工法での比較を行う。史跡地のため植生基材吹付により FRP 製のパネルが目立たず景観性に最も優れている FRP 製格子状パネル設置工法が望ましいと考えられる。

表 16. 法面保護工法比較表（1）

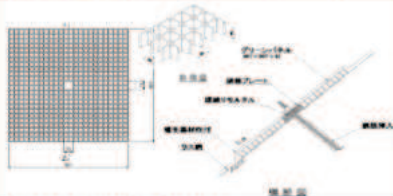
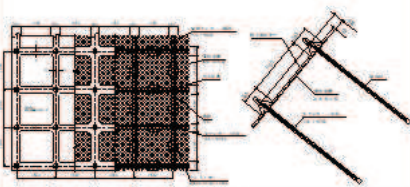
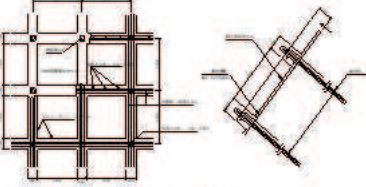
	案A	案B
工 法	FRP製格子状パネル設置工法	樹木を保全した斜面安定工法
施 工 写 真		
工 法 構 造 図		
施 工	- 樹木の全面伐採、およびのり面整形が必要。 - 鉄筋挿入工施工後に、金網張りや緑生マット工を予め展開する。 - FRP製のパネルを人力にて設置し固定する。 - 緑生基材吹付を行う。	- 樹木の伐採は要しない。およびのり面整形が簡略化できる。 - 鉄筋挿入工施工後に、支柱板接地面の整形を行い、支柱板を設置固定する。 - 支柱板間をワイヤロープにて連結する。 - 便宜や中抜け懸念がある場所では金網張りや緑生マット工を併用する。
特 長	- 壁の透水性はないが本あたりの支柱面積はもっとも広く、のり面全体の安定性を図りながら全面緑化することができる。 - FRPは、軽量・強靱・耐腐食など優れた特性がある。工場による品質管理により、安定した製品を施工できる。	- 斜面を改変せずに施工するため、樹木伐採や切土・法面整形、緑生工といった工程が少なくて済む。 - 鉄筋挿入工は自穿孔方式を用いることで大きな機械、足場が渡り工期を短くできる。
総合評価	樹木の全面伐採、およびのり面整形が必要となるが、緑生基材吹付によりFRP製のパネルが目立たず景観性に最も優れている。	樹木の伐採は要しないが、支柱板が露出しているため、景観性を損なう恐れがある。

表 17. 法面保護工法比較表（2）

	案C	案D
工 法	ツイルクリート工法 ネットタイプR1500 平成29年度標準技術 (新技術活用システム検討会議(国土交通省))	吹付法枠工法300×300・1500×1500
施 工 等 具		
工 程 構 造 図		
施 工	・樹木の全面保護、およびのり面整形が必要。 ・鉄筋は、上筋2本、下筋2本を格子枠状に配置する。 ・型枠は必要とせず、専用の網立枠(ネットライザー)を使用し、それを目安にしてモルタル吹付を行い、のり枠を造成する。 ・枠内は、養生基材吹付を行う。 ・施工機械は、吹付プラントを使用し、モルタル吹付作業を行う。 ・鉄筋挿入工は、のり枠工完了後に打設する。	・樹木の全面保護、およびのり面整形が必要。 ・鉄筋は、上筋2本、下筋2本を格子枠状に配置する。 ・型枠(300×300)を使用し、型枠にモルタルを吹付けることによって、のり枠を造成する。 ・枠内は、養生基材吹付を行う。 ・施工機械は、吹付プラントを使用し、モルタル吹付作業を行う。 ・鉄筋挿入工は、のり枠工完了後に打設する。
特 長	・比較工法の中で、2層目に安価であり、曲げ耐力は吹付法枠工200×200より高い。 ・鉄筋挿入工の削孔径はφ85(標準削孔)を標準とする。 ・枠が矢印状をしているため、緑植物により隠れやすい。 ・型枠を用いないので、施工性は良い。	・比較工法の中で、最も高価である。 ・断面耐力は、比較工法の中で最も大きい。 ・枠が矩形で大きいので、緑植物により隠れにくい。 ・型枠の設置・組み立に時間を要す。
総合評価	樹木の全面保護、およびのり面整形と型枠のモルタルも必要のため、量販性を著しく阻害する。ただし、案Dより型枠のモルタルは省立ちにくい。 △	樹木の全面保護、およびのり面整形と型枠のモルタルも必要のため、量販性を著しく阻害する。また比較工法の中で、最も高価である。 ×

注 1) 施工規模は500 m²以上 1,000 m²未満を想定。伐採工、のり面整形工、土工、鉄筋挿入工等は含まない。

※一般的な推奨順位に関わらず土質調査を行い、現地状況に合わせた選定が必要となる

c. 整備計画

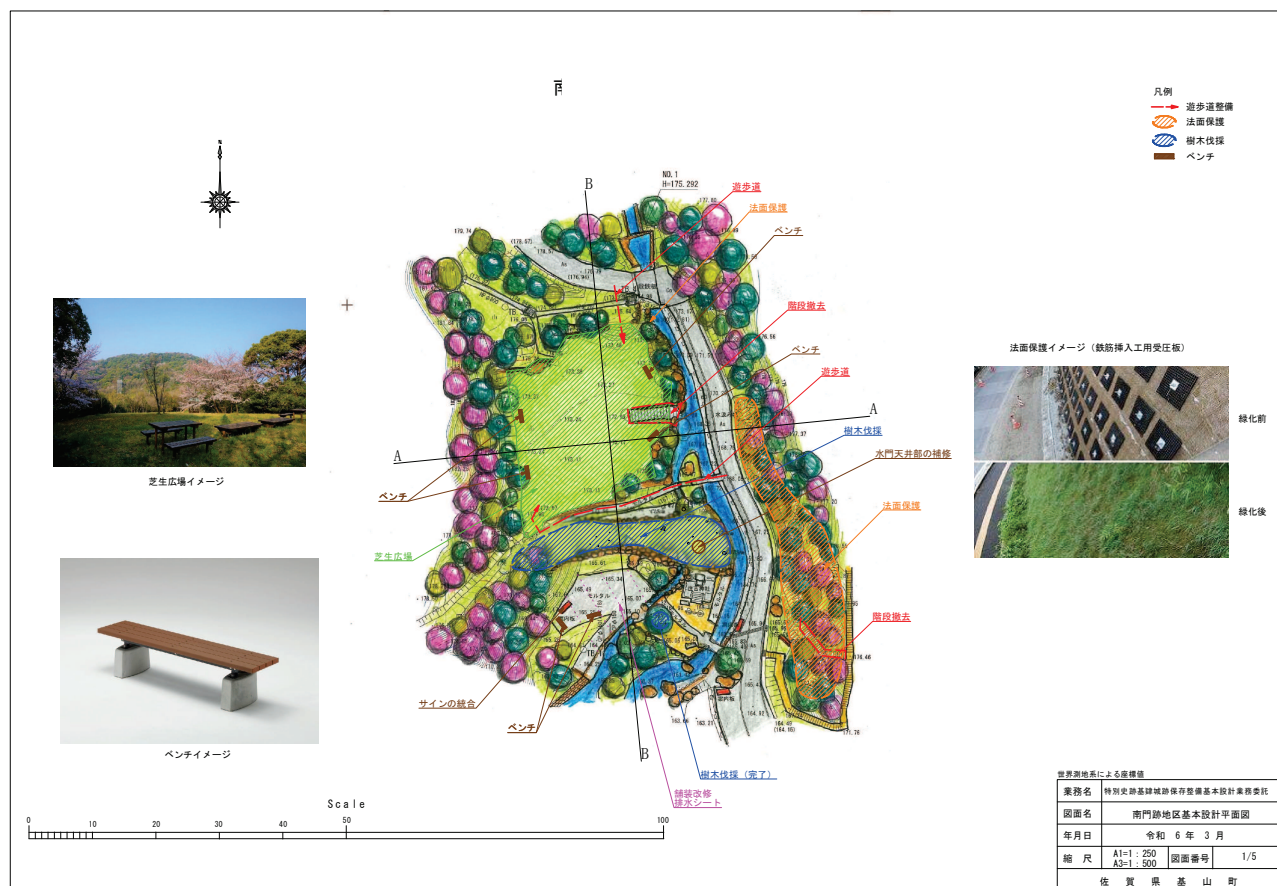
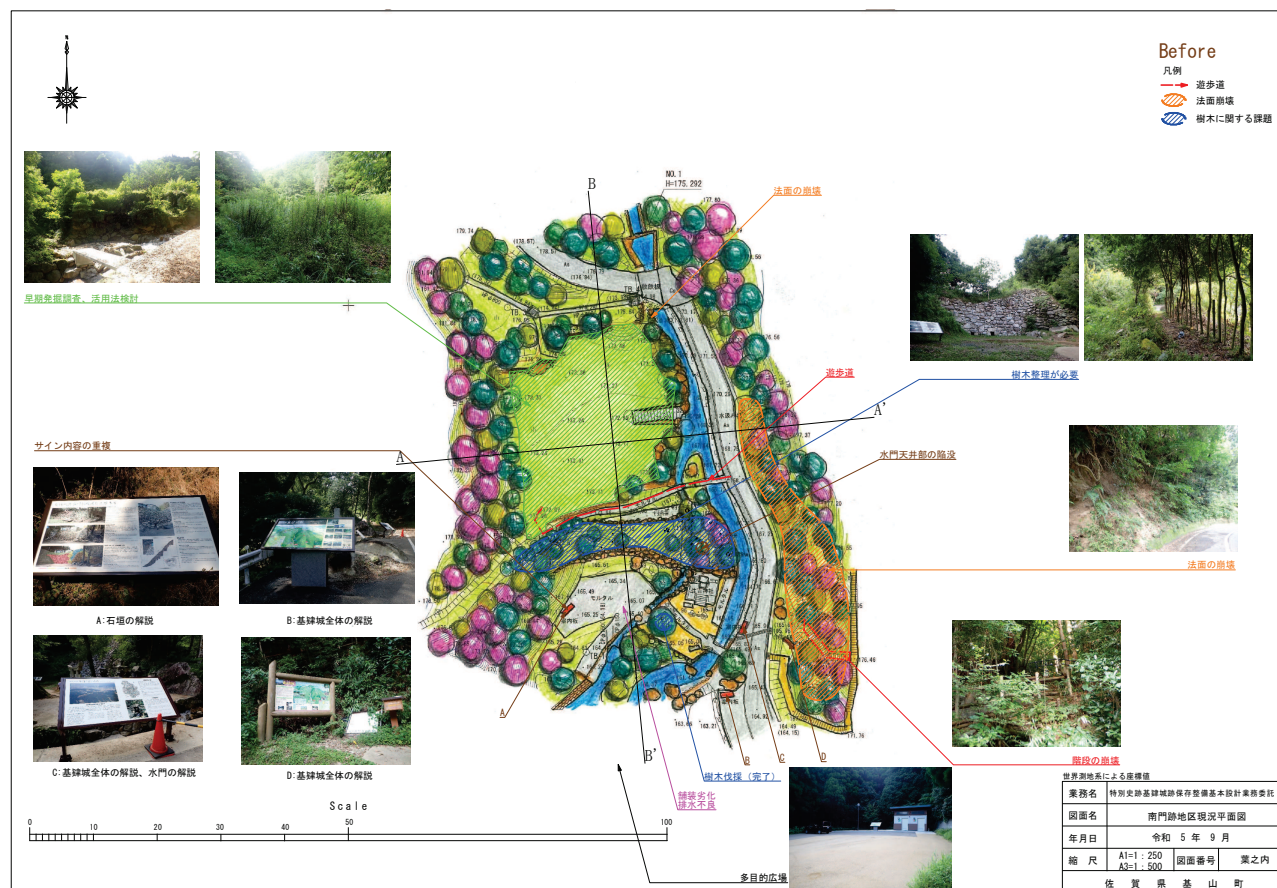


図 61. 南門跡地区整備計画図【上：現況、下：整備イメージ】

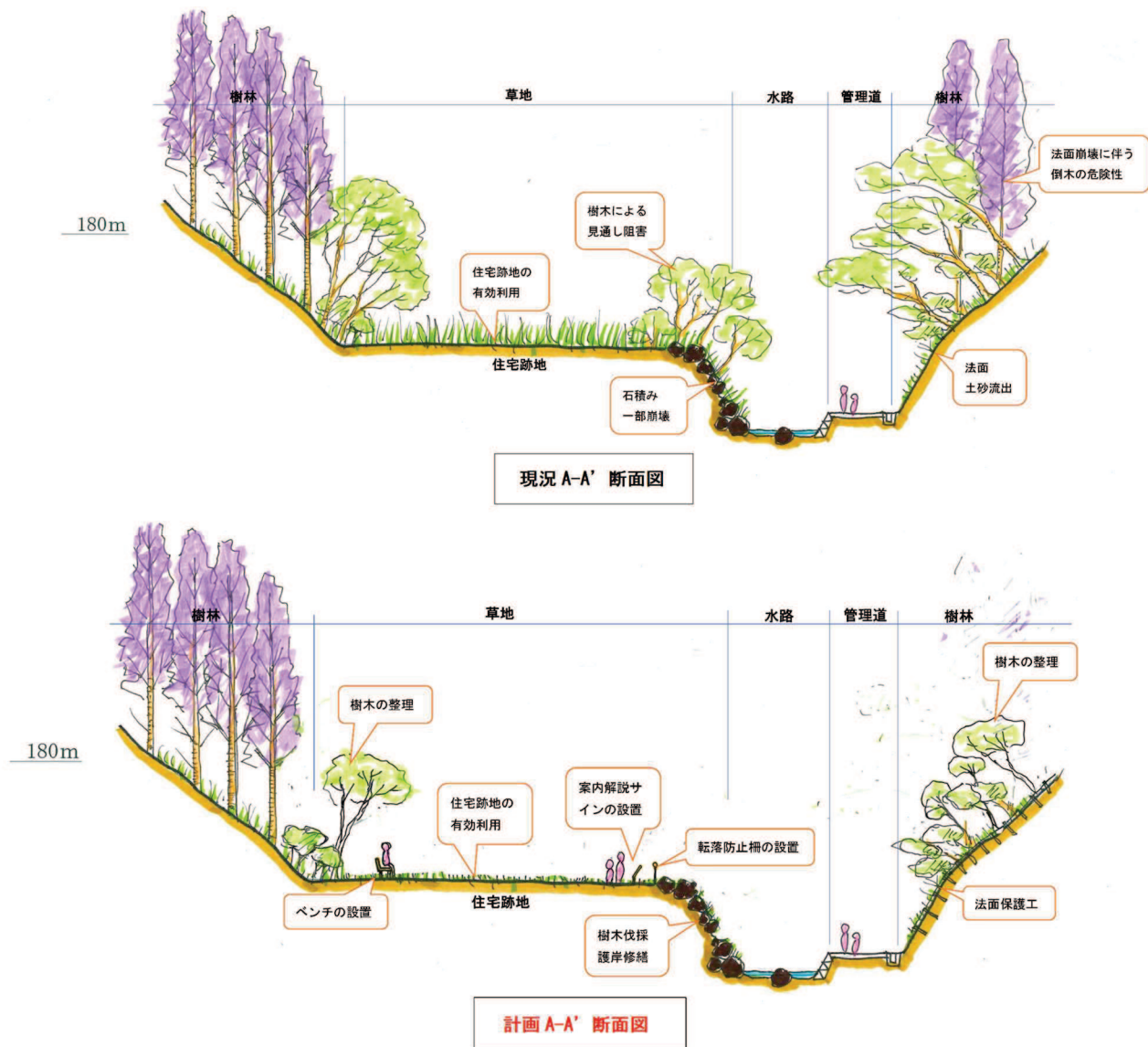


図 62. 計画 A-A' 断面図【上：現況、下：整備イメージ】

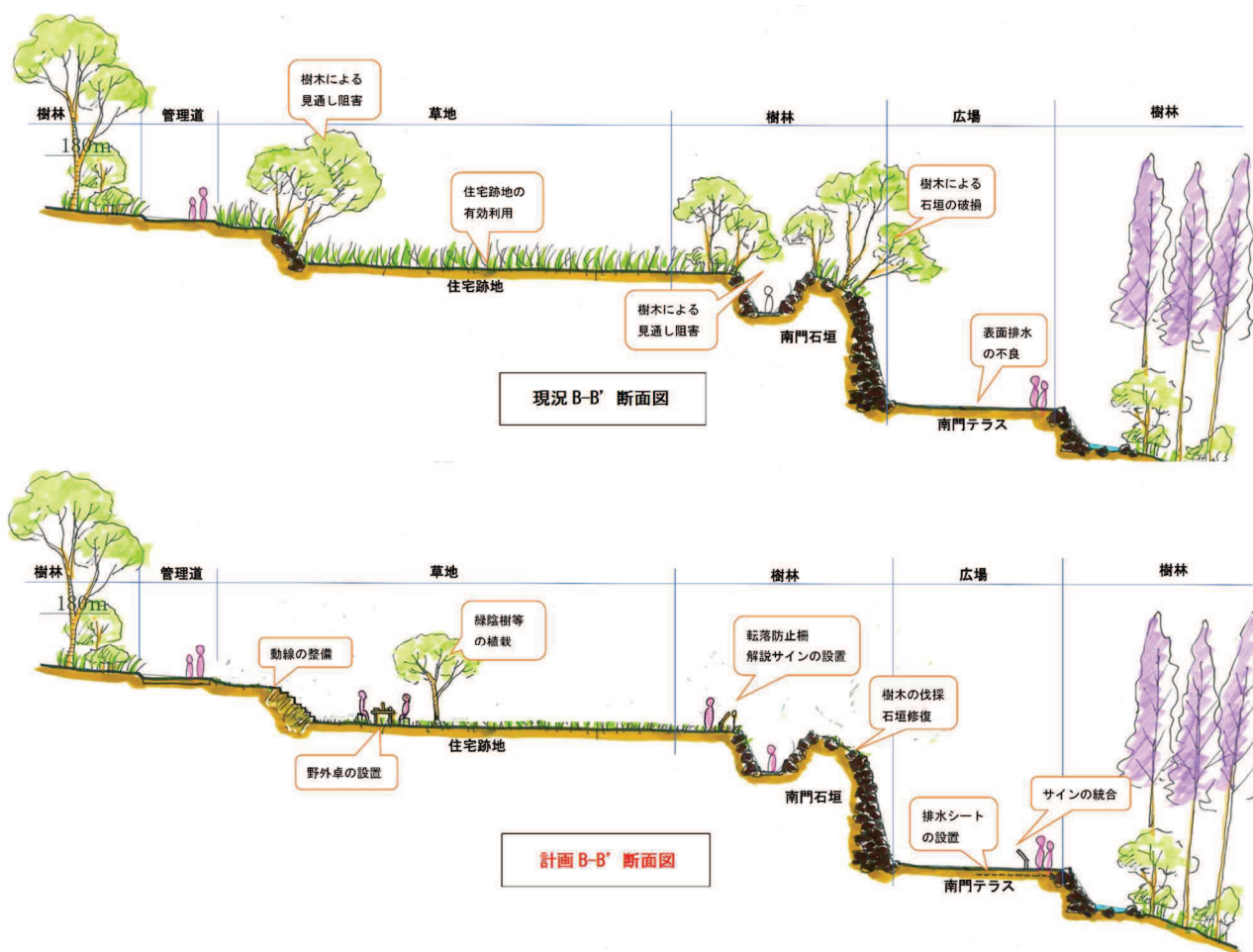


図 63. 計画 B-B' 断面図【上：現況、下：整備イメージ】

2. 造成基本方針の検討と設定

遺構保全の観点から基本的に切土を行わず、造成が必要な場合は現況地盤の勾配を基本とし検討を行う。また、遊歩道等の整備を行う際には盛土を行った上で整備を行うなど、必要に応じて検討をするなど実施設計の際に行う。

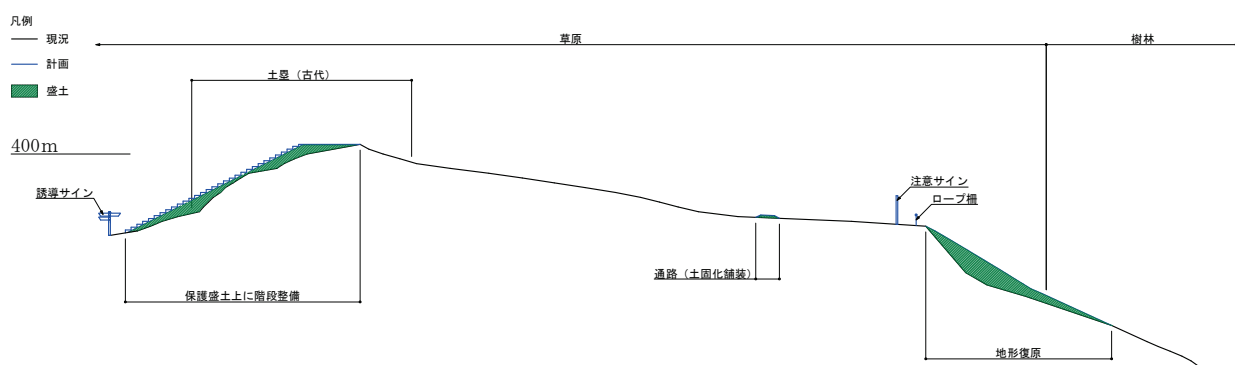


図 64. 基山山頂地区造成断面イメージ

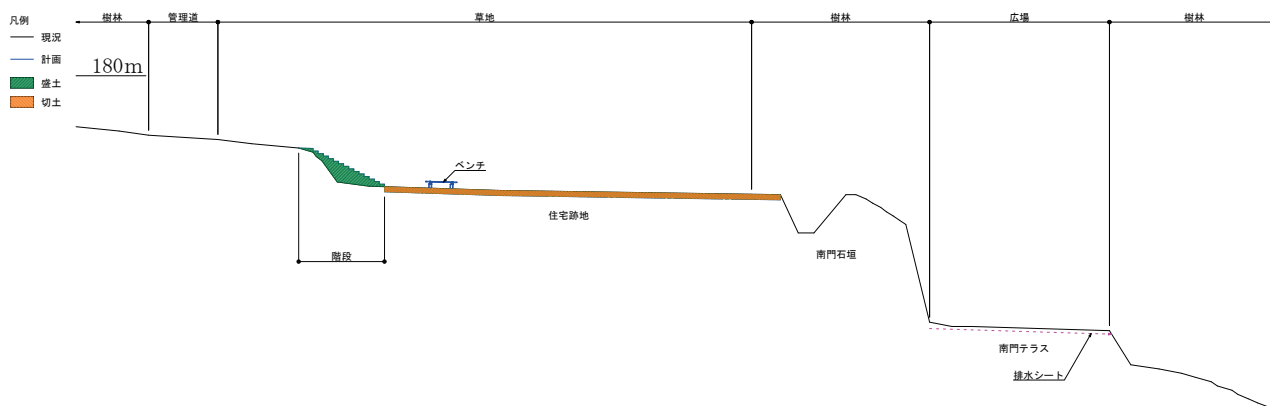


図 65. 南門跡地区断面イメージ

3. 植栽基本方針の検討と設定

1) 現況植生状況の把握及び植栽設計

①現況植生状況の把握

対象地の航空写真や環境省植生図（第6～7回）を基礎資料として、現地植生の概要調査を行い、現況植生図を作成した。

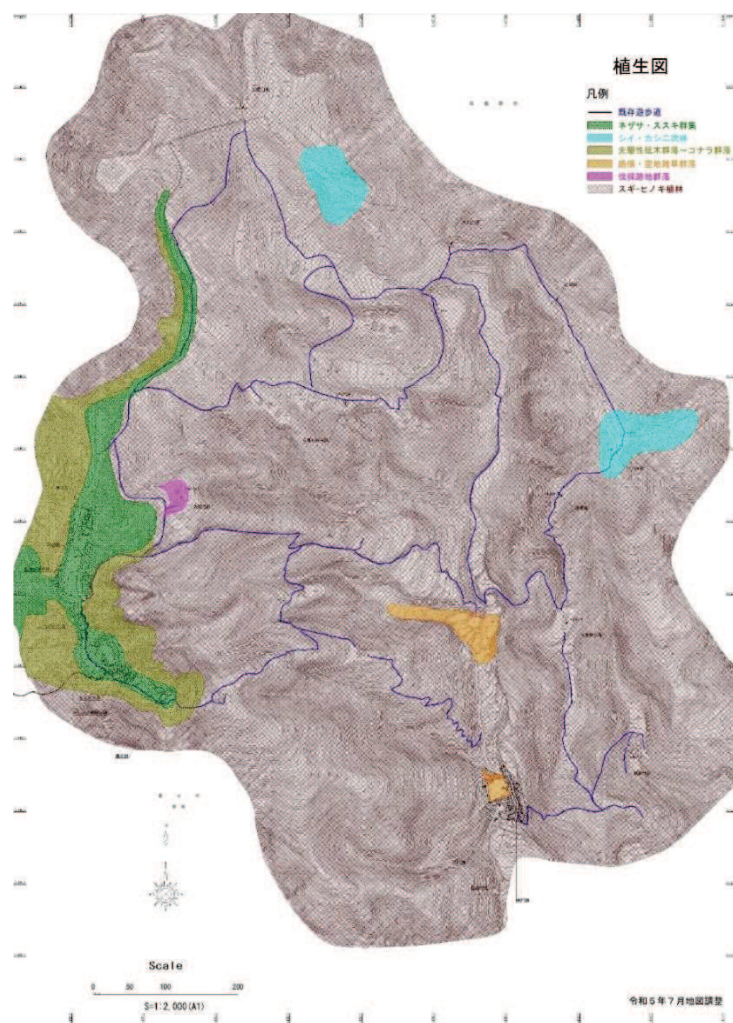


図 66. 現況植生図